



慶應義塾創立 150 年記念式典で体育会航空部 日吉式典会场上空 3 機編隊飛行を実施

2008 年、慶應義塾は創立 150 年を迎え、去る 11 月 8 日(土)、日吉キャンパスにて塾創立 150 周年記念式典が挙行されました。

塾航空部はこの式典に際し、かねてから計画していた 3 機のモーターグライダーによる日吉上空編隊飛行を実施しました。当初天候が心配されましたが、皆の願いが通じたのか、予定時刻が近づくとつれて雨も弱まり、無事時間通り大利根飛行場を出発、みごとな編隊を組みながら 1 度目は式典開始ファンファーレと共に登場、2 度目は閉会時に慶應義塾応援歌「若き血」を合唱中に上空をフライトし、天皇皇后両陛下ご臨席の下、1 万人以上を動員していた会場からは大きな拍手と共に歓声が上がりました。この 3 機のモーターグライダーを操縦していたのは、塾航空部 OB・現役学生のペア 3 組。1 番機は小濱明彦先輩と 4 年岡本健志郎(航路計算担当)、2 番機は茂木隆先輩と副将内田智穂子(無線通信担当)、3 番機は鈴木重輝先輩と主将伊村隆宏(総括)の計 6 名でフライトを行いました。その他部員も多くの塾航空部 OB の皆様のご協力の下、飛行班・飛行支援班。記録班・地上班に分かれ、当プロジェクト成功に務めました。式典終了後、会場内にいた観客の方々にお話を聞いたところ、「かっこよかった」「感動した」などの声が多く聞かれ、当プロジェクトの大成功ぶりを窺うことができました。慶應義塾創立 150 年という節目の年に、このような貴重な体験ができたことに、社中の絆の深さを改めて実感致しました。

(文責 航空部副務 鈴木祐美子、写真提供 株式会社 日本飛行船)